

【表紙】

| | |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2013年2月12日 |
| 【四半期会計期間】 | 第15期第3四半期（自2012年10月1日至2012年12月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社日本ケアサプライ |
| 【英訳名】 | Nippon Care Supply Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 金子 博臣 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区芝大門一丁目1番30号 |
| 【電話番号】 | 03(5733)0381 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 小磯 隆久 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区芝大門一丁目1番30号 |
| 【電話番号】 | 03(5733)0381 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 小磯 隆久 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第14期 第3四半期 連結累計期間 | 第15期 第3四半期 連結累計期間 | 第14期 |
|---------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2011年4月1日 至 2011年12月31日 | 自 2012年4月1日 至 2012年12月31日 | 自 2011年4月1日 至 2012年3月31日 |
| 売上高(千円) | 6,690,238 | 7,197,340 | 8,952,686 |
| 経常利益(千円) | 836,054 | 985,052 | 1,095,182 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 408,981 | 590,025 | 552,249 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 419,125 | 594,470 | 564,375 |
| 純資産額(千円) | 9,093,367 | 9,428,841 | 9,196,272 |
| 総資産額(千円) | 11,652,426 | 12,246,697 | 11,947,410 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 2,340.59 | 3,798.48 | 3,249.33 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | 2,340.06 | 3,797.50 | 3,248.56 |
| 自己資本比率(%) | 77.4 | 76.5 | 76.4 |

| 回次 | 第14期 第3四半期 連結会計期間 | 第15期 第3四半期 連結会計期間 |
|----------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | 自 2011年10月1日 至 2011年12月31日 | 自 2012年10月1日 至 2012年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 852.40 | 1,462.49 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 従来、営業外収益に表示しておりました「ソフトウェア使用料」は、第15期第1四半期連結累計期間より、「売上高」に含めて表示することに、また、従来、販売費及び一般管理費に含めておりました費用の一部は、「売上原価」に含めて表示することに変更いたしました。
- この表示方法の変更を反映させるため、第14期第3四半期連結累計期間及び第14期は組替後の数値を記載しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等の下支えはありますが、依然として、世界景気の減速等を背景に、先行きは不透明な状況が続いております。

介護業界におきましては、総人口に占める65歳以上の高齢者の割合は4人に1人、2035年には3人に1人になると予測され、高齢者人口の増加と共に市場は拡大が見込まれております。一方、2012年4月の制度改正では24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの創設や高齢者住まいの整備、高齢者が地域で自立した生活を営めるよう、地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みや介護報酬の改定が行われました。

こうしたなか、当社グループは、2012年度からの3年間を新たな拡大期間として位置付け、「強固な収益基盤作り」と「次なる成長に向けた事業領域の拡充」を掲げた中期経営計画を策定し、さらなる成長を目指してまいりました。

当社が中心に事業展開する福祉用具サプライ事業につきましては、強固な収益基盤作りを目的として、営業拠点の拡充やニーズに対応する品揃えの強化やITシステムの拡充、福祉用具貸与事業者（以下、事業者）への業務支援の差別化推進等の取り組みを実施してまいりました。なかでも、当社の受発注管理システム（e-KaigoNet）については、時代ニーズに合わせ2012年11月からタブレット型端末でも操作できるよう改良し、外出先での空き時間の活用やご利用者宅に訪問した際に画面を見ながら用具を選ぶことができるなど事業者の業務効率化やサービスの質の向上へ向けた後方支援に取り組んでまいりました。

在宅介護サービス事業につきましては、引き続き事業者や医療機関等との連携・協働を図り、小規模多機能型居宅介護や通所介護、訪問看護等、地域に応じた複合的な在宅介護サービスを提供し、コア事業である福祉用具サプライ事業とシナジーを重視した事業を展開してまいりました。

なお、福祉用具サプライ事業以外の事業の重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間より、セグメント情報ごとの業績の記載を省略しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が7,197百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益が971百万円（前年同四半期比24.9%増）、経常利益が985百万円（前年同四半期比17.8%増）、四半期純利益が590百万円（前年同四半期比44.3%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 640,000 |
| 計 | 640,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2012年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (2013年2月12日) | 上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|--|
| 普通株式 | 163,376 | 163,424 | 東京証券取引所 (マザーズ) | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株制度は採用しておりません。 |
| 計 | 163,376 | 163,424 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|----------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2012年10月1日～ 2012年12月31日 | - | 163,376 | - | 2,897,350 | - | 1,641,350 |

(注)新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2012年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2012年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 8,044 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 155,332 | 155,332 | - |
| 単元未満株式 | - | - | - |
| 発行済株式総数 | 163,376 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 155,332 | - |

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1株(議決権の数1個)含まれております。

【自己株式等】

2012年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|-------------|--------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| (株)日本ケアサプライ | 東京都港区芝大門 1-1-30 | 8,044 | - | 8,044 | 4.92 |
| 計 | - | 8,044 | - | 8,044 | 4.92 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2012年10月1日から2012年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2012年4月1日から2012年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2012年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2012年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,565,787 | 813,814 |
| 売掛金 | 219,567 | 217,248 |
| レンタル未収入金 | 952,630 | 1,046,242 |
| 有価証券 | 2,099,773 | 2,499,840 |
| 商品 | 13,217 | 12,207 |
| 貯蔵品 | 20,206 | 30,655 |
| 短期貸付金 | 2,000,000 | 1,500,000 |
| その他 | 386,735 | 405,646 |
| 貸倒引当金 | 43,200 | 43,132 |
| 流動資産合計 | 7,214,718 | 6,482,522 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| レンタル資産(純額) | 3,261,380 | 4,402,579 |
| その他(純額) | 744,086 | 634,077 |
| 有形固定資産合計 | 4,005,467 | 5,036,656 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 427 | 232 |
| その他 | 162,069 | 160,879 |
| 無形固定資産合計 | 162,496 | 161,112 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 565,162 | 567,025 |
| 貸倒引当金 | 650 | 650 |
| 投資その他の資産合計 | 564,512 | 566,375 |
| 固定資産合計 | 4,732,476 | 5,764,143 |
| 繰延資産 | 215 | 31 |
| 資産合計 | 11,947,410 | 12,246,697 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2012年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2012年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 205,901 | 237,991 |
| レンタル資産購入未払金 | 624,149 | 742,913 |
| 未払法人税等 | 246,224 | 216,144 |
| 賞与引当金 | 128,471 | 66,745 |
| レンタル資産保守引当金 | 433,800 | 483,300 |
| その他 | 455,070 | 413,895 |
| 流動負債合計 | 2,093,616 | 2,160,989 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 472,453 | 489,154 |
| 役員退職慰労引当金 | 11,669 | 16,170 |
| その他 | 173,400 | 151,541 |
| 固定負債合計 | 657,522 | 656,866 |
| 負債合計 | 2,751,138 | 2,817,856 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,897,350 | 2,897,350 |
| 資本剰余金 | 1,641,350 | 1,641,350 |
| 利益剰余金 | 5,000,669 | 5,250,004 |
| 自己株式 | 414,799 | 414,799 |
| 株主資本合計 | 9,124,569 | 9,373,904 |
| 少数株主持分 | 71,702 | 54,936 |
| 純資産合計 | 9,196,272 | 9,428,841 |
| 負債純資産合計 | 11,947,410 | 12,246,697 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 6,690,238 | 7,197,340 |
| 売上原価 | 3,808,584 | 4,012,249 |
| 売上総利益 | 2,881,653 | 3,185,091 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,103,612 | 2,213,670 |
| 営業利益 | 778,041 | 971,420 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,518 | 3,851 |
| 受取配当金 | 1,492 | 2,270 |
| 持分法による投資利益 | - | 1,354 |
| レンタル資産修繕収入 | 22,814 | - |
| 補助金収入 | 17,268 | - |
| 雑収入 | 13,395 | 7,409 |
| 営業外収益合計 | 59,489 | 14,884 |
| 営業外費用 | | |
| 自己株式取得費用 | 370 | - |
| 為替差損 | 426 | 831 |
| 雑損失 | 679 | 421 |
| 営業外費用合計 | 1,476 | 1,253 |
| 経常利益 | 836,054 | 985,052 |
| 特別利益 | | |
| 子会社株式売却益 | 28,542 | 13,888 |
| 移転補償金 | - | 51,280 |
| 特別利益合計 | 28,542 | 65,168 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 96 | - |
| 固定資産除却損 | 3,140 | 2,400 |
| 特別損失合計 | 3,236 | 2,400 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 861,359 | 1,047,820 |
| 法人税等 | 442,234 | 453,349 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 419,125 | 594,470 |
| 少数株主利益 | 10,144 | 4,445 |
| 四半期純利益 | 408,981 | 590,025 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 419,125 | 594,470 |
| 四半期包括利益 | 419,125 | 594,470 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 408,981 | 590,025 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 10,144 | 4,445 |

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、(株)グリーンケアサービスは清算を結了したため、連結の範囲から除いております。

第2四半期連結会計期間より、(株)グリーンケア芳珠は株式の一部売却により連結子会社に該当しなくなったため、連結の範囲から除いております。

(2) 変更後の連結子会社の数

5社

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更)

耐用年数の変更

当社が保有するレンタル資産は、従来、主な耐用年数を3年～4年として減価償却を行ってきましたが、第1四半期連結会計期間において、主な耐用年数を3年～6年に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更は、介護保険制度施行から10年が経過し、取得から除却までのデータが蓄積及び整備されたことを契機としてレンタル資産の使用状況を総合的に検討した結果、使用可能期間が従来に比べ長期化する傾向にあることによるものであります。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ290,943千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

(表示方法の変更)

従来、営業外収益に表示しておりました「ソフトウェア使用料」は、第1四半期連結累計期間より、「売上高」に含めて表示することに、また、従来、販売費及び一般管理費に含めておりました費用の一部は、「売上原価」に含めて表示することに変更いたしました。

この変更は、2012年4月の介護保険制度の改正に伴い、福祉用具の貸与・販売に際して新たに求められる、「福祉用具サービス計画書」の作成をIT面で支援するために、当社受発注管理システムに機能を追加したことを契機として、今後、当該サービスの利用料相当額を売上高に含めることで、当社の営業活動の成果をより適切に表示することができるために行うものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、営業外収益に表示していた、「ソフトウェア使用料」24,786千円は「売上高」として、販売費及び一般管理費に含めて表示していた費用の一部12,015千円は「売上原価」として組替えております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年12月31日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 1,343,688千円 | 1,299,687千円 |
| のれんの償却額 | 1,292 | 195 |

(株主資本等関係)

1. 前第3四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年12月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2011年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 301,450 | 1,700 | 2011年3月31日 | 2011年6月27日 | 利益剰余金 |

2. 当第3四半期連結累計期間(自2012年4月1日至2012年12月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2012年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 341,730 | 2,200 | 2012年3月31日 | 2012年6月27日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2012年4月1日至2012年12月31日)

報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度まで、「福祉用具サプライ事業」及び「在宅介護サービス事業」を報告セグメントとしてセグメント情報を開示しておりましたが、「福祉用具サプライ事業」以外の事業の重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間より、セグメント情報の記載を省略しております。

これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年12月31日) |
|---|--|--|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 2,340円59銭 | 3,798円48銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 408,981 | 590,025 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 408,981 | 590,025 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 174,734 | 155,332 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 2,340円06銭 | 3,797円50銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(千円) | - | - |
| 普通株式増加数(株) | 40 | 40 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2013年2月8日

株式会社日本ケアサプライ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 岡田 吉泰

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 郷右近 隆也

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社日本ケアサプライの2012年4月1日から2013年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2012年10月1日から2012年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2012年4月1日から2012年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社日本ケアサプライ及び連結子会社の2012年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

会計方針の変更等に記載されているとおり、会社は第1四半期連結会計期間よりレンタル資産の耐用年数を変更している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。